

新人からベテラン職員まで 明るく活気のある職場



野口 謙史郎

Noguchi Kenshiro

国税専門官 2021年採用

西福岡税務署 徴収部門



Question

1 現在の仕事内容について教えてください。

私は徴収部門に所属しており、納期限までに納付されなかった税金について滞納整理を行っています。多くの納税者が期限内に納付していますが、様々な事情で期限内に納付できない方もいます。その場合、電話催告や税務署での面接、納税者の自宅や事業所に赴き、それぞれの状況に応じた納付相談や納付指導を行います。一方で、納付相談の際に虚偽の答弁をする方や、納付指導に従わない方、納税に対して誠意を示さない方もいます。そのような納税者に対しては、法律に基づき、徹底した財産調査や捜索を行い、差押え等の厳しい滞納処分を実施します。徴収職員は国民からの負託を受けているという責任感のもと、日々の業務に取り組んでいます。



粘り強く
取り組むことを
大切に
しています

Question

2 仕事をする上で大切にしていることはありますか。

私は徴収の仕事をする上で、粘り強く取り組むことを大切にしています。多くの納税者が期限内に納付している一方、少数ではありますが特別な事情も無く、納税に対して不誠実な納税者もいます。そのような人に納税の大切さを理解してもらうことは決して簡単なことではありません。思うような結果が出ず、行き詰まり、悔しい思いをすることもあります。それでも、必ず全額を納付してもらうという強い信念を持ち、納税者へのアプローチの方法を工夫しながら粘り強く接触し、1つの案件を完結させたときは大きな達成感が得られます。



Question

3 職場の雰囲気はどうですか。

税務署と聞くと堅苦しいイメージや怖いイメージを持たれることが多いですが、明るくコミュニケーションの取りやすい職場です。私も税務署に配属される前は厳格な雰囲気をイメージしていましたが、実際は上司や先輩方が気さくに話しかけてくださいますし、納税者対応で困ったことがあったときは、周りの方がフォローしてくれます。ほかにも仕事の進め方などを検討する際に、不明な点があれば、経験豊富な上司や先輩方が親身になって相談に乗ってくれます。



Message

税務の職場は専門的な知識を要するため、自分にこの仕事ができるのか、自分に合っているのか不安に思いましたが、職員を育成するための様々な研修制度が充実しており、取り越し苦労でした。それに、これからの税務職員人生を歩んでいく上で心強い同期の存在ももちろんありますが、仕事やプライベート面で困ったことがあれば力になってくれる上司や先輩の存在もあります。何も心配することはありません。また、税務の職場で得た知識や経験は自分をより豊かにしてくれます。

みなさんも私たちと一緒に税務の職場で働いてみませんか。